



### 三根 治

みね・おさむ  
ひまわり矯正・小児歯科 院長

1999年日本大学松戸歯学部卒業、歯科矯正医(勤務医)としての経歴を積んだ後、98年にひまわり矯正歯科を開院。2002年移転およびひまわり矯正・小児歯科に名称変更。08年医療法人グループ設立、[20歳まで虫歯ゼロ]をモットーに、地域密着型の歯科医療運営を推進している。

武内直亮・ブレインマークスビジネスコンサルタント。まずは歯科医を志したキッカケから伺いたいと思います。

三根治・ひまわり矯正・小児歯科 院長、高校2年生の秋頃、父親と将来の話をしたときに「歯医者になる」といって勧められた。

### 10年後をリードする 未来企業 110

## 矯正治療を基盤に子どもの虫歯予防にも注力 「20歳まで虫歯ゼロ」の実現を目指す!!

矯正治療を基盤に子どもの虫歯予防にも熱心に取り組んでいるひまわり矯正・小児歯科(岐阜県各務原市)。同院が掲げる目標は「20歳まで虫歯ゼロ」——。そこにはどのような思いが込められているのだろうか。さっそく、三根院長の夢と思いに歯ブレインマークスの武内直亮氏がアプローチした。

たのが勤務です。父はサラリーマンでしたが、本当は医者になりたかったらしく、その夢を継いでほしいという思いがあったのです。そこで、私もその思いに応えるために歯科医を目指すことに、大学を卒業してからは、矯正治療を専門にすることにしました。

武内 矯正の専門医としてスタートを切ったそうですが、当初の状況はどのような感じでしたか。

三根 1996年に意気揚々と開業したのですが、最初の頃は患者さんがまったく来てくれず、困感してしまいました。とはいえ、当時の矯正歯科は一般的に歯科から患者さんを紹介してもらったのが通例で、独自に新規の患者さんを開拓していくのが難しい状況にありました。そこで「まずは当院のことを知ってもらおうが第一」と考え、2002年の移転を機に矯正歯科だけでなく小児歯科にも力を注いでみることにしました。

武内 小児歯科にも取り組むことが、何かメリットは生じましたか。

三根 子どものときから歯のことになるので、顎の成長をコントロールすることができず、その後矯正治療のニーズが生じてくるというメリットがあります。また、虫歯の予防や歯の健康状態を維持することの重要性



(左)ミーティングもコミュニケーションの向上に役立っている (右)歯の健康

をはやい段階から伝えられるので、「予防歯科」という観点からも意味があります。

武内 予防歯科にはさまざまな方面から注目が高まっています。

三根 先の参議院選挙でも全国民が毎年歯科検診を受けられる「国民皆歯科検診」の導入が争点のひとつになりました。歯の健康を維持できればほかの病気の予防できるという考え方は着実に広まりつつあるので、今後さらに注目されるようになるのではないのでしょうか。

武内 開業からこれまでの間にどのような変化がありましたか。

三根 女性スタッフが多いこともあり、産休・育休をとっても休まないが、医院の運営を安定させるには苦戦しました。これはどの歯科医院にも共通の課題だと思っています。そこでコロナ

禍の影響も加味して、現在は診察時刻を短くしたり、シフトを見直ししたりして、患者さんに迷惑をかけずにスタッフがムリなく働けるような業務体制を整えています。これからは業務の効率化と改善に取り組みながら、スタッフにとっても患者さんにとっても心地よい歯科医院をつくってみたいと思っています。

武内 診療面でも力を入れている分野はありますか。

三根 いくつかありますが、たとえばマウスピースを使って歯並びを整えていく「アライナー矯正」というものがあります。マウスピースの形を少しずつ変えながら歯列を矯正するという比較的新しい技術で、従来のようにワイヤーで矯正するのに比べて痛みなどの負担が少ないので、当院ではオススメしています。

武内 そういった治療を通じて、どのような目標を掲げていますか。

三根 「ひまわりのように明るく笑顔づくり」という目標のもと、矯正歯科を通じて「自信に溢れた笑顔を獲得する」、小児

歯科を通じて「20歳まで虫歯ゼロに抑える」という理念を掲げています。これをぜひ、実現させたいですね。というのも、20歳まで虫歯がなければ、それ以降も深刻なトラブルや歯をキックカケとする病気の発生をかなり抑えることができます。

武内 その実現にはどのような取り組みが必要になりますか。

三根 とにかく啓発活動やPR活動に力を入れることが重要だと思っています。とくに小児歯科という分野については、保護者への伝え方も含め、コミュニケーションの取り方に工夫を凝らしていくこともひまわり矯正・小児歯科

科の重要な役割だと考えています。

武内 具体的にどのようなことを取り組んでいますか。

三根 ここ最近ではSNSやYouTubeを使った情報発信に取り組みしており、子どもの歯の健康を保つための食べ物や紹介したりしています。もちろん、直接お話しできるのが一番効果的だと思うのですが、より多くの方にとっても、こうした取り組みをスタートさせました。これを機にまずは地域の皆さんに「歯並びをキックカケに健康を考える」「子どもの頃から虫歯予防を習慣づけよう」ということをしっかりと意識してもらえようようにしていきたいですね。

また、スタッフ数も増加傾向にあるので、少ない時間でより多くの患者さんに対応できるように、診療室や診療台を増やしていきたいと考えています。同時に「つねに学び、成長し、患者さんに還元する」というモットーをスタッフと共有し、当院の理念やビジョンとして定着させていきたいと思っています。

武内 三根さんが目指す歯科医院のあり方がよくわかりました。その理念やビジョンの浸透がスムーズにすすむように、当社としても主力でサポートしつづけていきたいと思います。



武内直亮  
たけうち・なおき  
株式会社ブレインマークス ビジネスコンサルタント

大手CIS(コンピニエンスストア)で、財務改善、経営改善、経営支援を担い、企業の「本質的な課題解決」に専らし、多くの経験と実績を積み上げてきた。人材育成を中心とした人事評価制度の構築や理念を中心とした自主性を広げ出す組織づくりも得意としている。幅広い経験と実績に裏打ちされたコンサルティングスタイルはクライアントから高い信頼を獲得している。

#### 10年後のためのアドバイス!

ひまわり矯正・小児歯科の強みは、開院時にはまだ認知度が低かった「矯正歯科」という分野で地道に業務を展開してきたところにあると思います。さらに小児歯科を通じて「予防歯科」に積極的に取り組んでいるのも実に素晴らしい点ではないでしょうか。ちなみに、三根院長は毎朝5時には仕事に駆けつけ、診療後も深夜まで働きつづけるという努力家です。開業出身とのことですが、開業地である岐阜への愛着が強く、地域の方と積極的に交流しています。私たちとしてもこうした思いを伝えるのを全力で応援するとともに、休日に集中する患者さんに対応するための体制整備やスタッフ育成、さらにはアフターコロナにマッチした勤務体系づくりなどを支援していきたいと思っています。



(左)ひまわり矯正・小児歯科の外観 (右)院内には水増を設けるなどして、大人にとって子どもにとって心地の良い空間を演出している

歯科を通じて「20歳まで虫歯ゼロに抑える」という理念を掲げています。これをぜひ、実現させたいですね。というのも、20歳まで虫歯がなければ、それ以降も深刻なトラブルや歯をキックカケとする病気の発生をかなり抑えることができます。

武内 その実現にはどのような取り組みが必要になりますか。

三根 とにかく啓発活動やPR活動に力を入れることが重要だと思っています。とくに小児歯科という分野については、保護者への伝え方も含め、コミュニケーションの取り方に工夫を凝らしていくこともひまわり矯正・小児歯科

科の重要な役割だと考えています。

武内 具体的にどのようなことを取り組んでいますか。

三根 ここ最近ではSNSやYouTubeを使った情報発信に取り組みしており、子どもの歯の健康を保つための食べ物や紹介したりしています。もちろん、直接お話しできるのが一番効果的だと思うのですが、より多くの方にとっても、こうした取り組みをスタートさせました。これを機にまずは地域の皆さんに「歯並びをキックカケに健康を考える」「子どもの頃から虫歯予防を習慣づけよう」ということをしっかりと意識してもらえようようにしていきたいですね。

また、スタッフ数も増加傾向にあるので、少ない時間でより多くの患者さんに対応できるように、診療室や診療台を増やしていきたいと考えています。同時に「つねに学び、成長し、患者さんに還元する」というモットーをスタッフと共有し、当院の理念やビジョンとして定着させていきたいと思っています。

武内 三根さんが目指す歯科医院のあり方がよくわかりました。その理念やビジョンの浸透がスムーズにすすむように、当社としても主力でサポートしつづけていきたいと思います。